

佐々木紙工株式会社

センサーカメラ付き丁合機導入による、カレンダー事業の品質及び生産性向上

不良防止のため、人力によって行っている工程を、最新設備を導入する事で高品質・短納期・低価格を実現。受注枠を120～130%拡大し既存顧客満足・新規顧客獲得を目指す。

事業取り組みの経緯

当社は1964年に創業し、祝儀袋の製造・販売が主業であった。祝儀袋の市場縮小を想定し、2006年からツインリングノートの製本事業を開始。ツインリングノートとは、スチール製の線材を成形し、表紙・裏表紙・本文を丁合して穴を空け、その穴に成形したリングを通して、かしめる製本方法である。

祝儀袋の顧客とは違い、日本の大手文具メーカーをはじめ、雑貨メーカー、ファンシーメーカーからの受注が増加した。

ツインリングノートの品質の高さ、低コストが顧客に認められ、カレンダーの製本に関する引き合いが強まり、2010年からカレンダー事業を開始した。

リングノートとカレンダーの大きな違いは、多枚数の丁合いが必要とされる事である。ノートの場合、断裁時もしくは製本時に手帳合する事で製本が可能になるが、カレンダーの場合は、丁合機が無いとスピード・品質面で大きく劣る。

またリングノートの製本不良と違い、カレンダーの場合は、乱丁・落丁が一番大きな不良として取り扱われる。

顧客数・受注数が少ないときは、旧機で作業を行ってきたが、効率の悪さ、乱丁・落丁への品質担保をとる為に手間がかかる事から最新設備を導入する事を決めた。

実施内容

最新の丁合い専用機を導入した。効率の面では、紙を機械に積載できる量を200%近く増やす事が出来たことで、前工程の断裁の手間、機械に紙を積み上げる手間を大幅に減らす事が可能となった。

また、最新機器であることから、乱丁・落丁を防止するためのセンサーカメラが各丁合い台に内蔵さ

れている事から、積み上げのミスによる、丁合い後の目視検品に対して、大きな労力を費やす事無く作業を進める事が出来るようになった。



事業取り組みの成果

効率を上げる事が可能になった結果、納期の短縮も可能になり、受注に対して余幅を出すことが可能となった。

現在は、新規取引先を増やす等、今まで以上に受注に対して積極的に営業を掛けられるようになった。

また、目視検品や紙の積み上げに関する作業者の負担を軽減する事が出来た為、特定の作業者に頼らず、作業を行う事が出来るようになった。

主要顧客からは、当社の品質管理に対する取り組みに理解頂く事が増え、更なる信頼を得ている。

今後の活動予定

機械を導入し、効率を上げる事が出来たので、現在主力である文具メーカーや雑貨メーカーだけでなく、カレンダー専門メーカー等へのアプローチを開始している。

自社オリジナルカレンダーの作成と、名入れサービスを次の目標として設定し、カレンダーのデザインが出来るデザイナーの確保やリングノートとカレンダーの合本等新製品開発を目指している。

佐々木紙工株式会社

- 代表者／代表取締役社長 佐々木 弘実
- 本社住所／〒799-0411 愛媛県四国中央市下柏町724-1
- TEL／0896-23-0567 ■FAX／0896-24-3791
- 設立年月日／1975年12月
- 資本金額／1,000万円
- 従業員数／80名
- 業 種／紙製品の製造・加工
- 事業拠点／本社工場 愛媛県四国中央市下柏町724-1
第2工場 愛媛県四国中央市村松町166
内職加工 高知県南国市大桶甲16番地1
東京営業所 東京都中央区日本橋2丁目10-3

企業概要

文具を中心とした紙製品の製本・加工を行っている。主要品目は、祝儀袋・ツインリングノート・カレンダー・天糊メモ（ブロック）・中綴じノート・シングルスパイラル製本・便箋、封筒等多岐に渡る。

印刷・断裁・丁合い・製本・製袋（紙・OPP）・内職加工まで一貫生産出来る機械と人を備えている

主要取引先

全国の文具メーカー・雑貨メーカー・大手量販チェーン店等

主要商品

ツインリングノート製品の一例



祝儀袋製品の一例



カレンダー製品の一例



〜〜〜以下のようなご希望にもお応えできます〜〜〜

- ・表紙に特殊紙を貼り合わせたい
- ・ラメやリボン等チャームを張り付けたい
- ・本体紙をダイカットで抜きたい
- ・吊り下げ式タイプにしたい
- ・ゴムバンドを付けたい
- ・ノート型カレンダーにしたい
- ・紙の材質を相談したい
- ・特殊なサイズにしたい
- ・リングを分割したい

主要設備

印刷機・断裁機・計数器・丁合い機・穴あけ機・ツインリング製本機・ツインリング成形機・中綴じ製本機
シングルスパイラル製本機・製袋機（OPP・紙）・トムソン抜打機・箔押し機等

担当者	代表取締役社長 佐々木 弘実
連絡先	0896-23-0567
連絡先E-mail	h-sasaki@sasaki-shiko.co.jp